

- 注目のブルックリンの日米文化交流研究所 -  
“Brooklyn Beauty/Fashion Labo”  
が来夏リニューアルオープン！



ブルックリンのパークスロープ (300 7th Street Brooklyn, NY 11215) に拠点を構える非営利団体 J コラボ (佐賀関 等：ファウンダー、下田 幸知：コファウンダー) は、2024 年度より日米文化交流研究所 “Brooklyn Beauty/Fashion Labo” をリニューアルオープンする。石川 広己を中心とし新しい理事 10 名余りを迎え、未来世代のアーティスト、シェフ、デザイナー、スタイリスト、マーケッターなどが国際社会に近い環境で経験を積むことができる未来世代育成プログラムを新設し、日米文化交流プロジェクトを新体制で強化する。

多くのアーティストが移り住み、ユニークなカルチャーを生み出すブルックリン。日米文化交流研究所 “Brooklyn Beauty/Fashion Labo” は、そこに住む人々の生き方、考え方に感化され、サステナブルでクリエイティブなコミュニティを作ることをミッションとし、ブルックリンと日本、さらには世界を繋ぐ架け橋となるプラットフォームを創造します。

日本企業約 35 社との合同会社 BBFL Sustainable LLC との共同運営により新設する約 35,000sqft( 地下,1 階~3 階, 屋上) の施設には、アートギャラリー、カフェ/バー、グロッサリー、ヘア/ネイル/フェーシャル/アイラッシュサロン、温泉ミストサウナ、アップサイクル、ローカル商品のショールームなどを常設し、“ブルックリン+ジャパン” をコンセプトにしたトータルなライフスタイルを提案。新商品を開発し小ロットで生産するラボも併設し、日米ハイブリッドな商品を続々と発表し世界に発信する。さらに様々な日米文化交流や未来世代の育成を目的としたプログラムやイベントも企画する。

ブルックリンの拠点はフラッグシップショップとしてテクノロジーとリアルを融合したコミュニティプラットフォームとなり、メディア EC など立ち上げる。日米中心に市場を拡張し、2031 年には日本でも大規模なフラッグシップをオープン予定。

<https://www.brooklynbbfl.com>

# 日米ハイブリットライフスタイルブランドを協業で開発し世界に!!

Brooklyn Beauty/Fashion Labo(日米文化交流研究所)では協業によりライフスタイル商品群を開発し、日米市場および世界に発信します。メンバーによる横連携により新しいアイデアなどを生み出し、協力して商品をプロモーション・販売していきます。



佐賀関 等 (ファウンダー): J コラボ、Brooklyn Beauty/Fashion Labo のファウンダーおよび代表、クリエイティブ、ブランディングダイレクター。職業能力開発大学校 造形工学科卒業後、1996 年に資生堂宣伝部に入社。国際事業企画部でヨーロッパブランドの立上げを担当後、2005 年より資生堂コスメティックアメリカに駐在し北米市場を統括。2008 年に J コラボを設立。2009 年独立後は NY を拠点にロレアル、ユニリーバ、P&G、Coty など大手化粧品、アパレルメーカーのブランディングや Tatcha, Wei Beauty などの新ブランドの立上げに携わる。

下田 幸知 (コファウンダー): 鉄の彫刻美術館 (奥出雲) : 名誉館長、アーティスト。2014 年より J コラボの理事に加わる。NY 州立大学デザイン科卒業後、アジアソサイエティ、ロックフェラーファンデーションで広報を担当。その後、フリーランスで国立国際美術館、富山県美術館、島根県美術館などのコーディネーションに関わり、日米美術館の国際交流展の企画なども行う。1973 年に J.C. Thompson gallery, Manhattan, 1977 と 1986 年に Mikimoto Art Gallery, Ginza などの個展、著書に”彫刻の投影 -60 年代ニューヨークの邦人作家たち”などがある。

石川 広己 (エグゼクティブダイレクター): 「世界で一番、社会に近いスクールを創る」という理念のもと、実践重視のスクール運営を担い、(株)バントンの社長、会長を歴任してきた。他にはない、先端的かつ独自の教育モデルを構築し、専門教育におけるリーディング校を築く。19 万人の卒業生を各業界へ輩出。現在は数多くの企業の顧問、コンサルとして確実な実績を上げることに貢献。また、今迄の経験をベースに、人材育成、組織論についての研究を進める。

非営利団体 J コラボ:

J コラボは 2008 年に NY 州 501 (c)3 非営利団体として設立され、”日本文化の再考”をテーマとしたオンラインギャラリーとしてスタート。未来世代のアーティストによる日本をコンセプトとした作品発表にとどまらず、坂本龍一氏、杉本博司氏、安倍晋三氏など、アメリカで著名な日本人などのインタビュー記事も発信し注目を集めた。さらには、セントジョンズディバイン大聖堂での東日本大震災のチャリティーイベント、グランドセントラルステーションでの観光プロモーションイベントなど多くの日本のイベントの企画運営に携わる。雅楽や能など日本伝統芸能と NASA の映像とのコラボ作品”BELLA GAIA”は NYU Skirball、薬師寺、氷室神社などの日米ツアーも成功させた。

2014 年からは、ブルックリンに常設拠点を設け、茶道、華道、書道、落語、雅楽、能などの日本伝統文化や竹細工、陶器、漆器、和紙などの伝統工芸品の教育プログラムの企画運営を行う。“ブルックリン+ジャパン”をコンセプトに、無料のイベントを中心とした、現地の人々との繋がりを大切にしながらコミュニティイベントを開発している。さらに 2017 年からはアニュアルアートグループ展を開催し、優秀者には日米で個展など作品発表の機会を提供している。

<https://www.j-collabo.org/about>